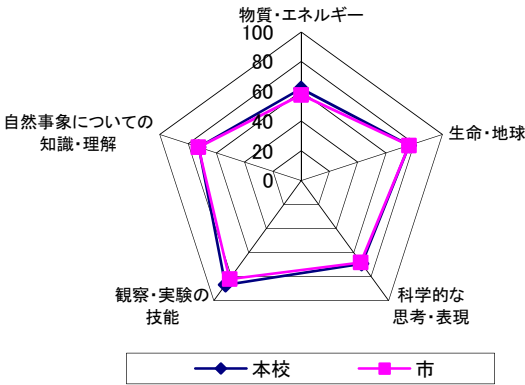


宇都宮市立御幸小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	61.9	57.6
	生命・地球	76.4	76.3
観点別	科学的な思考・表現	69.2	68.1
	観察・実験の技能	86.7	82.0
	自然事象についての知識・理解	72.6	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は61.9ポイントと市の平均正答率より4.3ポイント上回った。しかし、細かく見ると、水の沸点が何度かはよく理解されており、正答率も96.6ポイントと高くても沸騰の際出る泡が水蒸気であることや湯気が水の液体であることの理解は10.2ポイントとかなり低かった。「水のすがた」の学習全体から見ると内容理解にばらつきがみられる。	・この領域を指導するにあたっては、泡や水蒸気や湯気は、温度のように数値で表すことができないので、目で見えた事象を理科的にとらえ直して正しく理解できる指導が必要になる。そのため、実験一言葉での説明—実験—ノートにまとめるなどのように、繰り返して確認できる場を設定して指導する。
生命・地球	・平均正答率は76.6ポイントと市の平均正答率とほぼ同じであるが、「流れる水のはたらき」については、平均正答率が市の平均正答率を10ポイント以上、下回っている。これは、学区内に川がない地域性の影響もあり、実験での体験だけでははたらきの仕組みを十分理解することができなかったためと考えられる。	・この領域を指導するにあたっては、校庭での実験だけでは小規模で、大きな自然の中での流れる水のはたらきを理解することは難しい面があるので、映像資料の活用や校外学習での見学等具体的なイメージが持てる指導を工夫する。